

みんなで学ぼう 救命措置と応急手当

中央本町センターでどなたかが事故や怪我などされた時にどんな処置を行うのでしょうか？

今回は利用者の皆さんに救命措置や応急手当の一般的な方法を説明して、万が一、身近な方が緊急事態に見舞われた時、自分自身に出来ることは何なのか？を学んでいただきます。

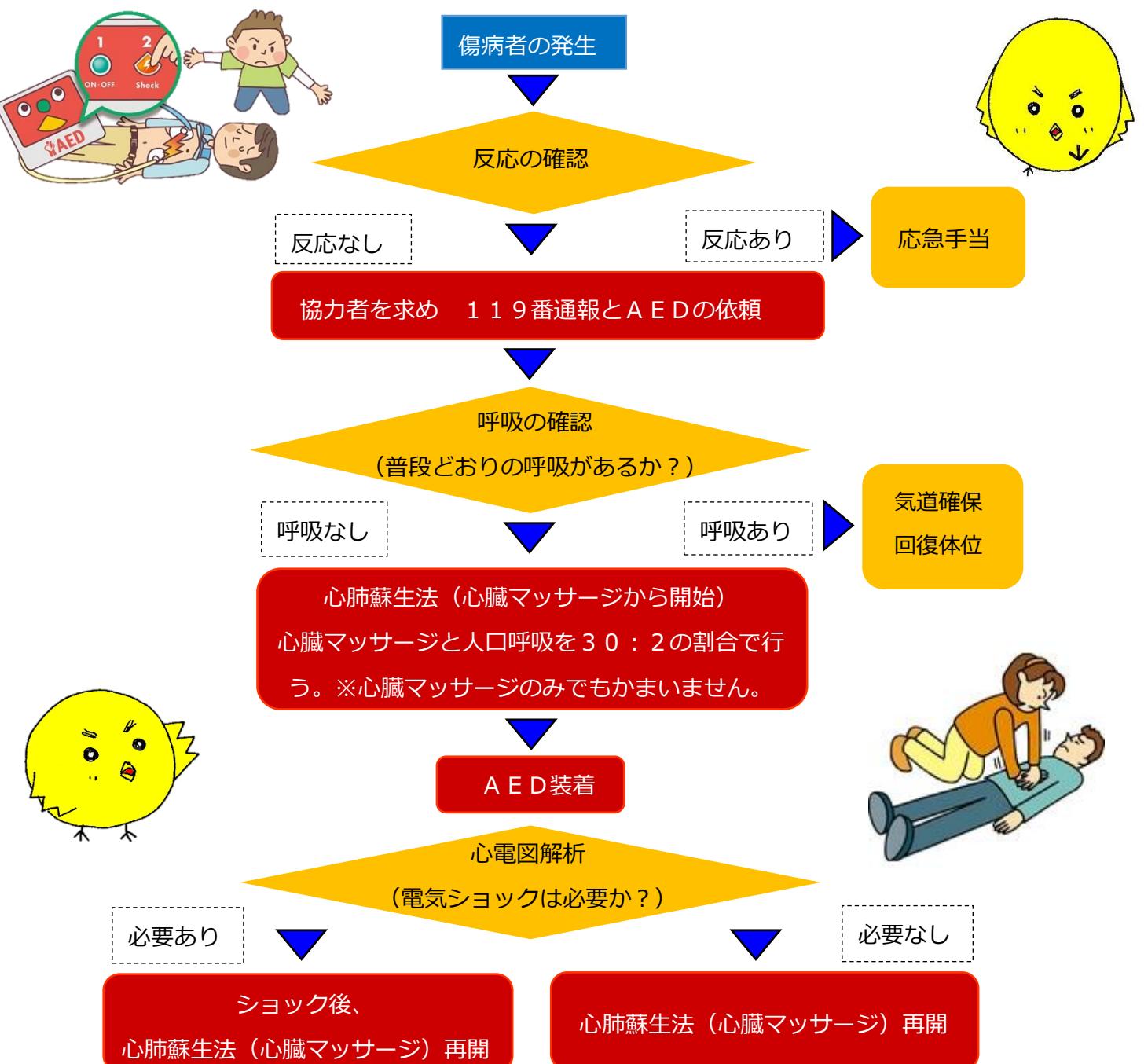
救急車を待つ間に…



心臓の機能が停止した後の死亡率は約3分で50%と言われています。ただし、救急車を要請して現場に到着するまでの時間は平均8分と言われています。このリスクを低くするには、救急隊が到着するまでにいち早く適切な心肺蘇生法を行うことが必要なのです。

左の図は一次救命処置の流れです。一次救命処置とは、心臓マッサージと人工呼吸による心肺蘇生法、AEDによる処置を意味します。現場に居合わせた一般の人が行う一次救命処置が、傷病者の救命や社会復帰に非常に重要な役割を果すようになります。AED(自動体外式除細動器)は公共施設・機関などあらゆる場所に設置されています。どこにあるか知りおくだけで、いざという時にすぐに持つて駆け付けることができます。(2階受付横にあります)

成人の一次救命処置(心肺蘇生法とAED)



AEDは全自動であり安全ではありますが、要救護者の状態によっては注意しなければいけない点があります。ここでいくつか紹介するので、正しい使用方法を身につけましょう。

- ・体が濡れていたらしっかりふき取る。 ▷感電の恐れがあるため
- ・湿布や塗り薬ははがすかふき取る。 ▷心電図が正しく解析できない、電気ショックが伝わらない
- ・アクセサリーを付けていたらはずす。 ▷やけどの恐れがあるため

応急手当(アキレス腱)

中央本町センターで実際に起きた事故で特に多いのがアキレス腱の断裂です。このような事態に焦らず対応できるよう、応急手当の方法を学びましょう。

アキレス腱断裂は、スポーツをしている時の踏み込みや、着地の際によく起こります。アキレス腱を切るとつま先立ちができなくなり断裂部分に凹みが見られます。すぐに患部を冷やし、仮固定をしてすぐに整形外科を受診してください。



【固定の仕方】

普通救命講習会のお知らせ

中央本町センターの職員は上級救命技能認定証を取得しています。また、地域への啓発事業として年に4～5回ほど普通救命講習会（講師：足立消防署）を行っています。3時間の講習では、救急車が到着するまでに行う、正確かつ迅速な応急手当を学びます。さらに人形を使った心肺蘇生法やAEDの使い方など、実技を多く取り入れて説明します。（3年間有効の「救命技能認定証」を後日交付）

開催予定

5月16日(土)
7月 5日(日)

